

手と心をつなぐぬくもり

認知症マフ ワークショップ in 博多

定員50名
申し込み順

2023年12月16日(土)
13:30~16:20 開場 13:00
JR博多シティ10階会議室
福岡市博多区博多駅中央街1番1号(博多駅直結)

主催  朝日新聞厚生文化事業団



認知症マフは、認知症特有の症状から手元に不安を感じる人が触れたり手を通したりして落ち着けるように、さまざまな飾りを縫い付けた円柱型のニット小物です。イギリスなど海外の高齢者施設や医療機関でも使われており、英語ではtwiddle muff（トゥイドルマフ）と呼ばれています。この製作、普及を学ぶワークショップを開催します。

すでに地域コミュニティや病院で認知症マフを取り入れた活動を行っている関係者から取り組みについてお話しいただくほか、NHKEテレ出演をはじめ多方面でご活躍中のニット作家・能勢マユミさんを講師に迎え、参加者のみなさんと実際にマフを編んでいただきます。

ワークショップを通じて、認知症の当事者のことや認知症にやさしい地域づくりについて考えていただけることを願っています。

プログラム


- 13:30 認知症マフの基礎知識
朝日新聞厚生文化事業団 社会福祉士・森田英枝
- 13:50 活動報告
ミーア・とも生き会 代表・角田茂子さん
福岡県中間市保健福祉部介護保険課
第一層生活支援コーディネーター・原舞さん
聖隷浜松病院 認知症看護認定看護師・富樫千代美さん
- 14:25 休憩
- 14:35 マフづくり体験
ニット作家・能勢マユミさん
- 16:10 質疑応答、アンケート記入

参加費

3,000円 材料費、資料代込み 当日会場でお支払いください

申し込み

11月2日(木)正午からホームページで受け付けます

朝日新聞厚生文化事業団 



問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所
Eメール aswo-osaka@asahi.com
電話 070-3349-4847 平日10時~18時